

杉二図書館だより No.2

発行 令和5年7月7日
杉並区立杉並第二小学校

お子様と一緒にごらんください



なつやす ようかしだし 【夏休み用貸出】 かつ か げつ 7月10日(月) から

いつもより1冊多く
かりられます!

夏休みに向け、7月10日から、いつもの「2冊まで」に1冊プラスして、「3冊まで」本をかりられます。(1年生は、本を入れる「みどりバック」が配布されてからになります。)

- 貸出期限は9月1日(金)です。2学期最初の「図書」の授業のときか、期限までの休み時間にかえてください。
- 1学期中に、かりた本をかえて、また別の本をかりることもできます。
- 「もう1冊かりられます券」も使えます。



今年度の春の読書旬間は、朝の時間を活用し、「朝読書」や、担任の先生による「読み聞かせ」を行いました。特に、担任の先生の読み聞かせは子どもたちに大好評! 「〇〇先生の読み聞かせ面白かった!」と教えてくれる子がたくさんいました。

パワーアップして行われる秋の読書旬間もお楽しみに!



「図書」の時間に、図書室で読み聞かせをしてくれる先生もいました。



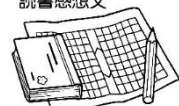
図書委員さんのアピールもあり、休み時間の図書室は大賑わい。となりの視聴覚室も開放しました。楽しそうにマットの上で絵本を読む子もいました。



- 今年度は、夏休み中の図書室開放はありません。
- 2学期は8月28日(月)から開館します。(始業式の日は杉二図書館はお休みです。)
- 8月28日からは、通常通り「2冊まで」の貸出にもどります。



読書感想文



夏休みの「青少年読書感想文全国コンクール」の課題図書が入りました。

図書室でじっくり読みくらべてみてはいかがでしょうか。

【低学年の部】



『これで、いい!』
議みゆき 作
はたこうしろう 絵
(ポプラ社)



『けんかのたね』
ラッセル・ホーバン 作
小宮由 訳/大野八生 絵
(岩波書店)



『うまれてくるよ海のなか』
高久至 写真
かんちくたかこ 文
(アリス館)



『よるのあいだに…みんなをささえる はたらく人たち』
ポリー・フェイバー 文
ハリエット・ホプティ 絵
(BL 出版)

たくさんの方が、わたしたちの暮らしを夜もささえてくれていることが感じられる絵本です。



【中学年の部】



『ライスボールとみぞ蔵と』
横田明子 作/塚越文雄 絵
(絵本塾出版)

作品に登場するみぞ蔵「塩屋」のモデル(塩屋醸造)は長野県に実在し、見学も受け付けているそうです。



『秘密の大作戦! フードバンク どんぼうをつかまえる!』
オンジャリQ・ラウフ 著
千葉茂樹 訳/スギヤマカナヨ 絵
(あすなろ書房)



『化石のよぶ声がきこえる』
天才恐竜ハンターウェンディ・スロボダ
ヘレイン・ベッカー 作
サンドラ・デュメイ 絵
木村由莉 訳・監修
(くもん出版)



『給食室のいちにち』
大塚菜生 文
イシヤマアズサ 絵
(少年写真新聞社)

【高学年の部】



『ふたりのえびす』
高森美由紀 作
(フレーベル館)



『5番レーン』
ウン・ソホル 作
ノ・インギョン 絵/すみみ 訳
(鈴木出版)



『魔女だったかもしれないわたし』
エル・マクニコル 著
榎田理絵 訳
(PHP 研究所)



『中村哲物語 大地をうるおし平和につくした医師』
松島恵利子 著
(汐文社)

戦いや干ばつの続くアフガニスタンで、日本人医師中村哲は、飢えに苦しむ人々のために井戸や用水路を作ります。2019年に銃撃で命を落とした彼の生涯が丁寧に描かれます。